

第 36 号

花だより

安佐南区
花いっぱい運動

平成 29 年 3 月

発行：安佐南区花いっぱい運動推進委員会事務局(安佐南区地域起こし推進課内) ☎ 831-4926 FAX 877-2299

【推進委員会事務局】



3月に入り、暖かくなってきました。

今は、夏の花壇に向けて、種を蒔いています。5月頃から区役所の花壇を模様替えますので、それまでの間、葉牡丹や桜草やキンセンカ、ピオラなどをお楽しみください♪



【安東支部】 報告者：上長者 辰雄

クリスマスローズの栽培のポイント

先日、クリスマスローズのオープンガーデン（安佐北区可部二丁目）を見学に行きました。80鉢以上のクリスマスローズが飾られ、とてもきれいでした。そこで、クリスマスローズについて調べてみましたので、栽培のポイントなどをご紹介します。



クリスマスローズは、多年草で、花の少ない冬から春にかけて色とりどりの花を咲かせます。2～3か月開花するので、長い間観賞することができます。種類が非常に多く、咲き方や花弁の形、模様など様々です。特に交配種は世界に2つと同じものがないほどです。

<栽培のポイント>

●植える場所

地植えの場合は、日当たりと水はけ、風通しのよい場所に植えます。土は、完熟堆肥や腐葉土などを混合します。3・4年に1回は、9～2月に植え替えが必要です。鉢植えの場合は、鉢内に根が回ると水切れしやすくなるので、毎年1～2回り大きな鉢に植え替えます。15～18cmの鉢に1株が目安です。水はけのよい混合土（赤玉土7：腐葉土2：完熟堆肥1）又は市販されているクリスマスローズの土を用います。時期的にはこちらも9～2月が適期です。

●水やり

鉢植えは、土の表面が乾いたらたっぷりと、地植えは、雨が少なく乾燥が激しい時に水やりをします。

●施肥

元肥として、緩効性化成肥料又は有機質肥料などを適量施します。追肥は、地植えの場合は元肥と同じものを、鉢植えの場合は秋～開花前までの時期に液肥を施します（1週間に1回程度）。

●管理

夏越ししやすくするため、梅雨入り前に、株元から5cmほど残して切り戻します。

高温多湿、強い日差しや西日が苦手なので、夏場は半日陰に移動させたり、日よけが必要です。

●病虫害

アブラムシやハダニなどに注意が必要です。



我が家のしだれ梅

我が家の春一番、それは、しだれ梅です。



20年近く前に植樹したところ、毎年花をつけて私たち家族をもてなしてくれます。



寒い冬に耐えた分だけ色鮮やかな花をつけ、誇らしげにきれいな花を見せてくれます。
子どもの入学・卒業時にはこのし

だれ梅をバックに記念写真を撮っていました。

よそにわざわざ出向いていなくても間近で見ることができ、心癒してくれます。
今が一番の見ごろとなっています。



冬を飾る草花 サクラソウについて

寒くて厳しい冬を花で飾るのには、大変な苦勞があります。耐寒性があり花期が長く花色が多彩であるといえばパンジー・ビオラがあげられますが、私は二種類のサクラソウをおすすめします。

最初はプリムラ・マラコイデスといい、花色はピンクと白が主流ですが、最近は赤色もあるようです。発芽は簡単でこぼれ種からも芽が出ます。一番難しいのが夏越しで、秋分の頃までは直射日光は絶対に避け、涼しい日陰で育てます。十月を過ぎるころから日光に当て追肥をやり、大株に育ち、正月頃から花をつけ始めます。



【プリムラ・マラコイデス】

次は、プリムラ・ジュリアンといい、花色が豊富で7~8種類あります。これも夏越しが難しいので、秋に苗を買っています。写真のようにハンギング仕立てにして、玄関先を飾れば冬花花壇のシンボルとして際立ちます。これらのプリムラ類は厳冬の庭先や花壇を飾る花として最適です。皆さんも育ててみてはいかがでしょうか。



【プリムラ・ジュリアン】



【庭先をきれいに飾ります♪】